

2. トレッキング(中道)

- (1) 選定の経緯
- (2) 計画
- (3) GC の予約
- (4) 実行第1日(6月23日) 快晴
- (5) 実行第2日(6月24日) 晴、曇り、時々小雨
- (6) 休日(6月25日) 晴れ、曇り、雨
- (7) 第3日(6月26日) 晴れ
- (8) 評価

2. 全員登頂の山

(1) 選定の経緯

GT7として1山は全員で登ろうということで、大塚、中道で候補を探した。

GTNPの山々は写真にみるようにいずれも厳しく、climbingか、scramblingが必要である。



↑(Static Peak)

↑(Grand Teaton)

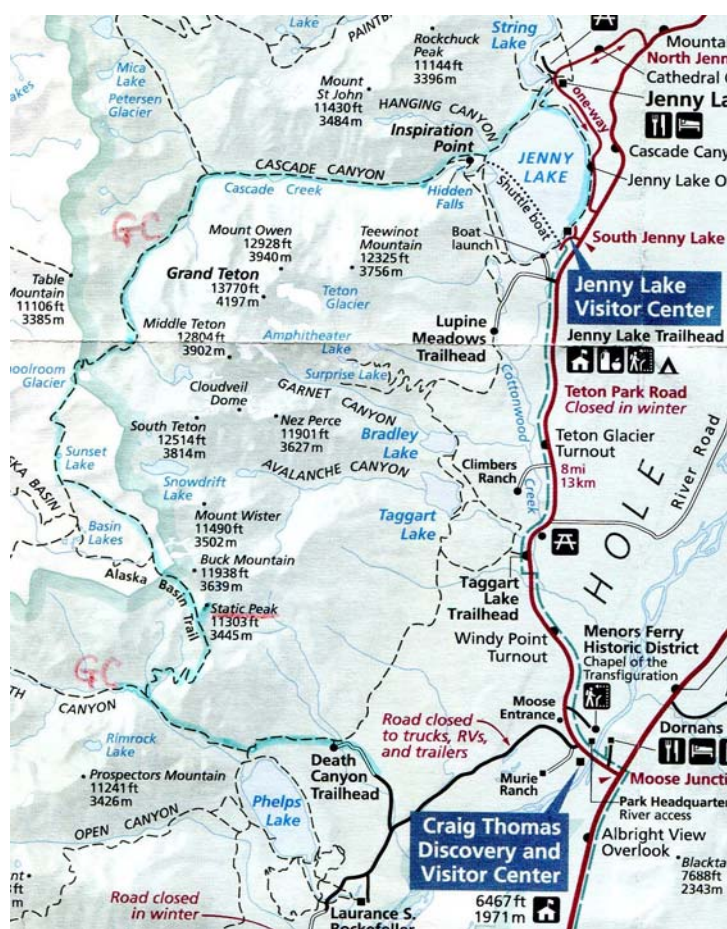
7月2日撮影

これらのなかで唯一トレッキング路からscramblingすることなしに登ることができる山がStatic Peak(11303ft,3445m)である。

(2) 計画

出発前には、BCをJenny Lake CSにすることを前提に次のように計画した。

- 第1日 車を1台下山口である Death Canyon TH(Trailhead)手前の駐車場に置き、String Lake TH を早朝に発ち、Cascade Canyon South Fork の GC(groupcamp) に泊まる 行程 7 マイル強
- 第2日 Hurricane Pass (10400ft) を越え、Alaska Basin に入り、Static Divide で Static Peak に登り、Death Canyon の GC に泊まる 行程約 13 マイル
- 第3日 Death Canyon TH に降り、残置の車でもう 1 台の車を取りに戻り、BC に戻る 行程 5 マイル強
- 負荷は共同装備を均等に負担して私の場合で 13kg である。



- ルート
- GC Groupcamp

(3) GC の予約

Moose Ranger Station で大塚、古林が GC の露営の許可を得た際、露営は許可された campsite に限る

9000ft 以上は雪である

との説明を受けたが、このコースの困難性については言及がなかった。

また Death Canyon TH 手前の駐車場まで行き確認した。

(4) 実行第 1 日 (6 月 23 日) 快晴

4 時起床、5 時食事、5 時半出発。

予定通り Death Canyon TH 手前の駐車場に 1 台車を置きに行き、7 時には Jenny Lake の乗船場(boat dock)に集まる。8 時の出航まで散策と写真撮影をする。渡船料は片道\$7 である。



8 時予定通りに発。



船長から安全対策、案内等いろいろ説明があるがまったく分からない。

8 : 2 6 (GPS 標高 2020m、以下、同じ) 船着き場発
きわめてゆっくりペースで歩き始める。

前夜均等に配分した共同装備も加わり、皆さん重そうである。

8 : 4 1 (2025) ホース・トレイルに入り、登りとなる。
少し降って、

9 : 3 2(2189) に船着き場からの道と合する。

ここからは溪谷の風景、花、生き物を愉しみながら歩くが、写真を撮る余裕は少ない。



10:49 (2260) 体調が十分でないことから大塚が単独で下山する。



途中あった Ranger に groupcamp の許可書の提示を求められる。

12:42 (2406) 分岐



CASCADE CANYON NORTH FORK	
LAKE SOLITUDE	2.7 ↗
PAINTBRUSH DIVIDE	5.1 ↗
STRING LAKE	13.0 ↗

CASCADE CANYON SOUTH FORK	
HURRICANE PASS	5.1 ↖
ALASKA BASIN SUNSET LAKE	6.8 ↖
WHITEGRASS RANGER STATION	18.2 ↖

私たちが入る South Fork からの流れが激しい。



カップルの下山者に会ったので様子を聴くと,very, very snowy で進めなかったとのこと、やはり残雪が多いらしい。

分岐までの路が上高地~横尾間を狭く、深くした感じであったが、南俣に入るとさらに岩壁が迫り、ますますその間を深くする。

1 3 : 3 4 (2535) 最初の campsite を通る。なかなか感じがいい。

1 4 : 2 6 (2632) 登録した GC に着く。



熊避けの食糧保存庫もあり、水場も近い（道路の側の流れから汲み取れたので、川まで降りる必要もなかった）。

展望もきわめて良い。



好みのテン場に張り、食事を愉しみ、夕陽が落ちる前に就寝した。



なお、明日の行程は

雪のため、ルート・ファインディングが難しいこと、滑落の危険があること、靴濡れの恐れがあること、また

20%の降水予報であること

から慎重を期すことを確認した。明日は的確な判断が求められる。



(5) 実行第2日 (6月24日) 晴、曇り、時々小雨

3時 起床

4時 食事

静かに美しく明けた。



5 : 0 1 (2649) 発

6 : 5 1 (2781)

7 : 3 2 (2831)

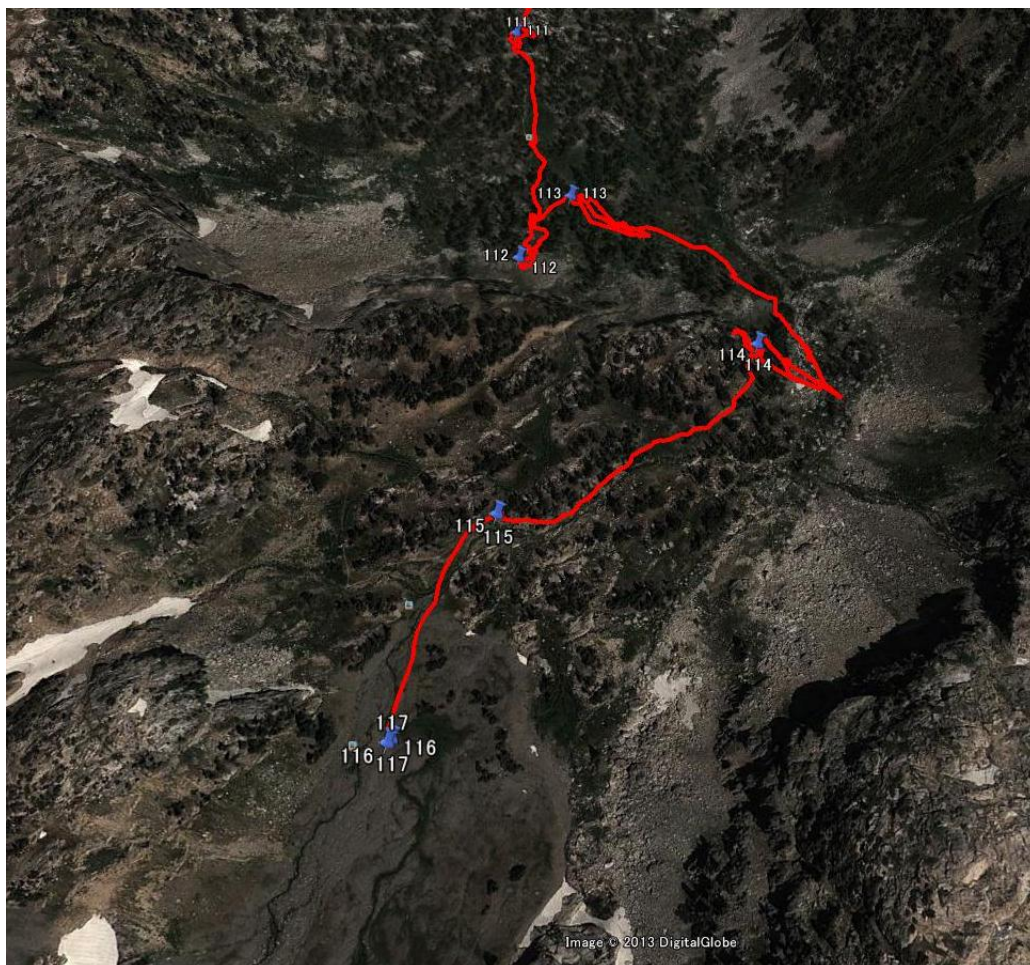
この辺りから踏み跡が乱れ(多分ルート・ファインディングに苦労したのであろう)、私たちも同じく苦労する。

秋田、中道はGT用のアイゼン、他は簡易アイゼンを着ける。

8 : 2 1 (2859)

ここでも同じく苦労する。特にジグザグの夏道が雪の斜面になっており、簡易アイゼン・

ストックでは危険でもある。



注：7月5日現在の Google Earth で、まったく雪がないが、行動日は全面雪であった。

9：00(2935)

もう踏み跡はない。

空荷で

9：34(2954)まで歩く。



夏道は分からない、
雪斜面を連続して登るに装備を用意していない、
天候は必ずしも良くない、
すでに4時間半が経過し、Hurricane Pass を越え、Alaska Sasin を通り、登録の GC まで
辿り着くことは不可能であると判断し、
ゆっくり昼食を摂ったのち
10:27 往路を戻ることとする。

危険斜面3か所では簡易ハーネスで1/2ロープで確保し、通過した。

13:05(2642) GCの下



13 : 48 (2414) 分岐

これからの3.3マイル,5.4kmは長かった。また雨具を着けたり脱いだりを数度繰り返した。



16 : 17 Inspiration point への路を採る。



17 : 10 船着き場

皆さん,13kg 超の重荷を担いで 12 時間よく歩いた。

BCに戻り、歩いてレストランに行き、良く食べ、良く飲んだ。

(6) 休日 (6月 25 日) 晴れ、曇り、雨

本日は休養とし、この 2 日間の知見を踏まえ、全員登頂の山についてこれからの対応を協議し、軽アイゼンの装備で Static Peak を登ることは不可能と判断し、日帰りで行けるところまで行くこととした。

その後 Moose Ranger Station であらためて残雪の状況を尋ねたところ

残雪が深く Static Peak 登頂は無理である

TRAM の頂上駅は一面雪で、トレッキングはできない

Hurricane Pass に行ったなどは「Oh My God!」である

とのことから、

Death Canyon を Alaska Basin Jet 付近までハイキングすることとなった。

これと併せて

秋田が本人の意向で GT から離脱する

Cody(10763)登頂・Granite Canyon トレッキングを廃止する

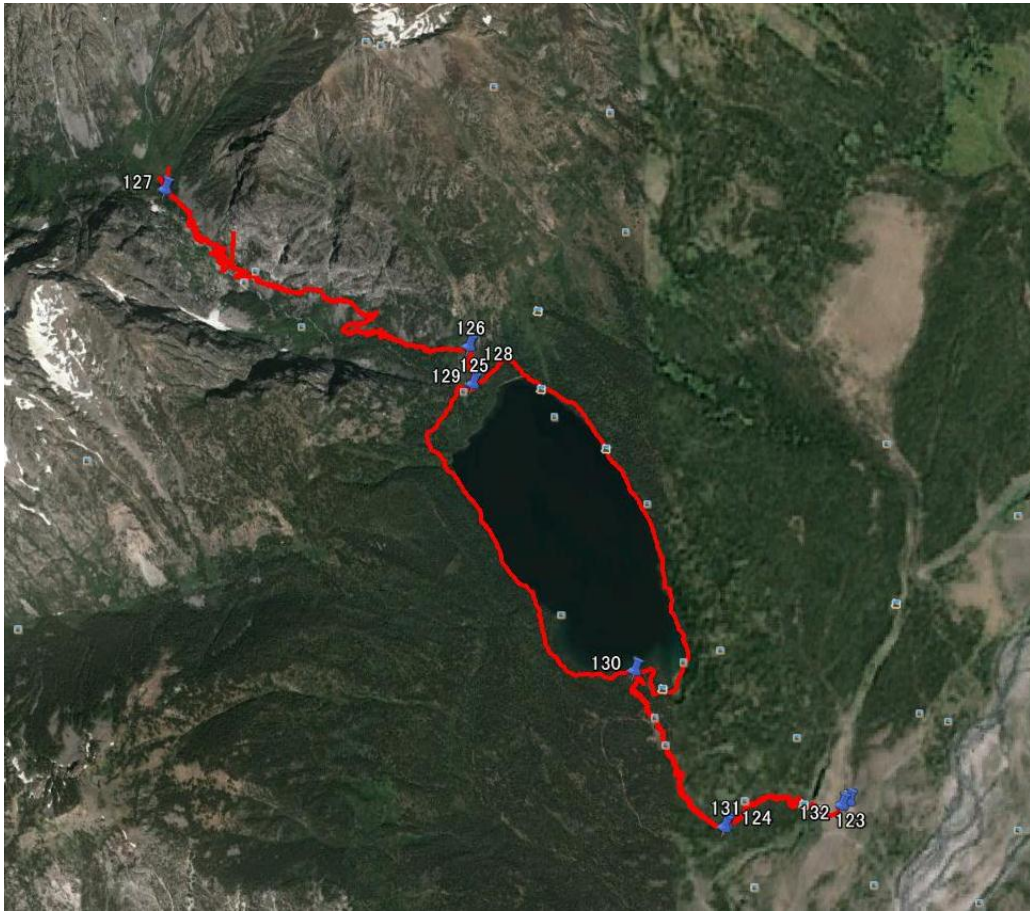
古林、斉藤幸子、斉藤光子、星野、秋田で Ranger Station の情報をもとにハイキングを計画する

こととなった。

(7) 第 3 日 (6月 26 日) 晴れ

空荷のハイキングである。Laurance&Rockefeller Preserve の駐車場に車を留める。





7 : 2 5 (1928) 発
Phelps Lake に映る山が美しい。





10:03(2051) 湖から離れる

10:14(2085) Death Canyon TH からの路と合する。



これからいよいよ Death Canyon に入る。クライミングのメッカであると聞く。







1 2 : 0 0 (2388) Alaska Basin Jct



幻となった Static Peak Divide、Sunset Lake、Hurricane Pass の文字が見える。

Alaska Basin Trail トレッキングのキセルである。

ここには有名なパトロール キャビンが建っており、これを前に昼食を摂る。



Death Canyon はここからなだらかになり、素晴らしい景観が続くようである。





1 3 : 5 8 (2092) Death Canyon TH への路と別れる。

1 4 : 0 3 (2055)

今度は湖の反対を周る。

1 5 : 5 5 (1960) 駐車場に戻る。

(8) 評価

①すでに「1. 経緯・計画・経過 (3) 経過」で述べたように

失敗の本質は私たちの無知にある。

「5月の連休に北穂高岳に夏山技術・装備で計画・実行したのに似ている。滞在中に残雪が日々少なくなっていったことからみると、計画が10日早かった。混み具合からシーズン前を狙った判断に起因している。」

②食糧、装備について軽量化が図られ、体もよく鍛えられて13kgの負荷に十分対応していたが、Cascade Canyon から Alaska Basin を横断して1日間でDeath Canyon に至るトレッキングは残雪が無くても距離からみると無理であったのではないか。

Cascade Canyon から分岐間の3.3マイル・5.4km、標高差400mの登りに4:16、降りに3:22を費やさしているようでは、1日13マイルは踏破できない。